

競技注意事項

1. 規則について

本大会は2013年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 国立競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) 更衣室は指定された場所を厳守して使用すること。また、荷物は各大学で責任を持って管理し、万一のことがあっても主催者側が責任を負わない。
- 3) 更衣室は各日使用した大学が使用後清掃すること。
- 4) 室内練習場でのトレーナー活動は、事前に大会本部の許可を受けた参加校に限る。また、更衣室でのトレーナー活動は一切禁止する。
- 5) 競技場内の全ての電源の使用を禁止する。
- 6) ダッグアウト・国立競技場周辺での集団走は、事故防止のため禁止する。
- 7) 練習はランプ下直走路、コンコース（バックストレート側のみ）を利用すること。コンコースは、一方走行とし、逆走は禁止する。また、競技役員の指示には必ず従うこと。
- 8) フィールド競技種目の練習は、競技役員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行う。
- 9) 競技場内におけるテープ等での貼り付けは一切禁止する。
- 10) 競技以外での芝生への立ち入りは禁止する（ウォーミングアップも禁止）。
- 11) 競技場保護のため、革靴での競技エリアへの立ち入りは禁止する。

3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは正規のものを2枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実に付けること。ただし、跳躍種目出場者は胸、または背だけでもよい。トラック種目出場者は競技者係で配付する写真判定用腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下やや後方に付ける。すべてのナンバーカードは折り曲げてはならない。なお、女子3000m、男子5000m、男女10000mWについては両腰に腰ナンバー標識を着用すること。
- 2) 女子3000m、男子5000m、男女10000mW、4×400mR出場者には、該当種目実施日に招集所にてレース用特別ナンバーカードを配付する。その際、確認のため事前に配付したナンバーカードを必ず持参すること。
- 3) ナンバーカードの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	配 色
● 男子	黄色地×黒数字
● 女子	ピンク地×黒数字
● 3000m・5000m・4×400mR	白地×黒数字
● 10000mW	白地×黒数字（男子） 白地×赤数字（女子）

4. 競技者の招集について

- 1) 競技者招集所は北入場口(100m スタート地点後方付近)に設置する。ただし、次の種目については招集場所が異なるので注意すること。

競技種目		
15 日 (日)	男子三段跳 女子三段跳	控室 G
	女子やり投 男子やり投 男子円盤投 女子円盤投	控室 H
16 日 (月・祝)	女子走幅跳 女子砲丸投 女子走高跳	控室 G
	男子走高跳 男子砲丸投 男子走幅跳	控室 H
	男女ハンマー投	日本体育大学健志台陸上競技場 (ホームストレート本部付近)

- 2) 各種目の招集開始・完了時刻は次の通りとする。なお、招集完了時刻は競技日程を基準とする。

競 技 種 目		ラウンド	組	開 始	完 了
トラック	男子・女子全種目 ※リレー種目を除く	予選	1～2	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
			3～4	競技開始 20 分前	競技開始 10 分前
			5～6	競技開始 時刻	競技開始 10 分後
			7～8	競技開始 10 分後	競技開始 20 分後
		決勝		競技開始 20 分前	競技開始 10 分前
	男子・女子リレー種目	予 選	1～3	競技開始 40 分前	競技開始 25 分前
			4～6	競技開始 20 分前	競技開始 5 分前
			7～9	競技開始 時刻	競技開始 15 分後
			10	競技開始 10 分後	競技開始 25 分後
		決 勝		競技開始 35 分前	競技開始 20 分前
フィールド	男子・女子跳躍種目	決 勝		競技開始 60 分前	競技開始 50 分前
	男子・女子投てき種目	決 勝		競技開始 50 分前	競技開始 40 分前

- 3) 競技者の競技場所への入場は競技役員の指示による。

- 4) 代理人による点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。また、同時進行種目への出場競技者は重複出場者届(招集所に用意)を競技者係に提出すること。
- 5) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので注意すること。
- 6) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙(招集所に用意)に記入して、**第 1 組目の招集完了時刻 1 時間前までに競技者係に提出すること**(メンバーについては競技規則第 170 条を参照のこと)。
- 7) リレーに **1 大学から複数のチームが出場する場合、それぞれのチームは独立した団体とみなすので、チーム間での変更・交代は認めない。**
- 8) 本大会は、「第 24 回関東学生新人陸上競技選手権大会」(以下 関東新人)と「関東学生リレー競技会」(以下 リレー競技会)の併催という形をとっているが、この 2 大会は同一大会と見なし、関東新人にエントリーしている選手も、リレー競技会のリレー種目に出場できる。
- 9) 棒高跳の練習は競技場所男子は競技開始時刻 100 分前から、女子は 60 分前から行うことができる。また棒高跳の招集は現地にて行う。
- 10) 混成種目の招集時刻については「8. 混成競技について1)」を参照すること。

5. 棄権について

エントリー後、病気または事故等によりやむなく棄権する場合は不出場届(大会本部指定の用紙を招集所に用意)に必要事項を記入、押印し競技者係に提出すること。ただし、9月13日(金)の代表者会議にて棄権を申し出た場合は提出しなくてよい。

6. 競技の抽選・番組編成

- 1) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。エントリーが 7 名以下の場合は、1 レーンを空けて 2 レーンから行う。
- 2) フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
- 3) 準決勝以降の組み合わせおよびレーン順は主催者が公正に抽選する。
- 4) タイムにより次のラウンドの出場者を決める時に、同記録者(チーム)があり、レーンが不足する場合は、写真判定員主任が 0.001 秒単位の時間を判定して出場者を決める。それでも決まらない場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い決定する(競技規則第 167 条同成績に関する条項を参照)。
- 5) 800m以下のトラック種目とリレー種目は A 決勝進出者(チーム)以外の記録上位 8 人(チーム)による B 決勝を実施する。

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具(やり・棒高跳用ポールを除く)は、すべて主催者側が用意したものを使用しなければならない。
- 2) 走高跳・棒高跳の練習に関しては、本連盟で用意したゴム製バーを使用して行う。
- 3) やりに関して、持ち込みを希望する場合は、招集完了時刻 1 時間前までに用器具庫(南入場口)にて公式計測員に許可をもらい使用することができる。なお、個人所有のものは、競技場の備品としての扱いとなるので、他の競技者と共用になる。また、破損等については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みのやりは競技終了後用器具庫にて返却する。

8. 競技について

● トラック競技について

- 1) 計時はすべて電気計時(0.01 秒)を用いて行う。
- 2) 男女 10000mWにおいて、男子は 58 分 00 秒、女子は 63 分 00 秒で残り 1 周に達していない場合は、競技を打ち切る。
- 3) 3000m 以上の種目では、必要に応じてバックストレートに給水所を設置し、水及びスポンジを用意する。なお、給水後のコップ、スポンジについては他の競技者の妨害に

なるような捨て方は禁止する。

● 跳躍競技について

- 1) 高さで順位を決定する競技のバーの上げ方は次の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

走高跳		練習	1	2	3	4	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは 3cm 刻みとする。		
	男子	1m90 2m00	2m00	2m05	2m10	2m13			
	女子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68			
棒高跳		練習	1	2	3	4	5	6	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは、5cm 刻みとする。
	男子	4m30	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	5m00	
	女子	2m50	2m70	2m90	3m10	3m30	3m40	3m50	

- 2) 三段跳の踏切板の位置は、砂場の近いほうの端から男子 13m、女子 10m とする。

● 混成競技について

- 1) 招集は 1 日目、2 日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。招集時刻は競技開始予定時刻の 30 分前に開始し、20 分前に完了とする。ただし、七種競技 2 日目の走幅跳は 50 分前に開始し、40 分前に完了とする。なお、以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- 2) 混成競技者控室は、男子は C 更衣室、女子は D 更衣室に設置する。
- 3) 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- 4) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男子	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	以後、3cm 刻み
	女子	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	
棒高跳	男子	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	4.00	4.10	以後、10cm 刻み

9. 表彰について

- 1) 各種目 3 位までに入賞した者（下位決勝が行われた場合は上位決勝の 3 位まで）は、競技終了後に表彰を行うので、受賞者集合場所（1 階表彰控室）に集合し、式典表彰係の指示に従うこと。
- 2) 表彰を受ける際は、上は各校の公式ユニフォーム、下は公式ジャージを着用すること。また、ナンバーカードも着用すること。
- 3) 代理表彰は一切認めず、不在の場合、空席として表彰を行う。
- 4) すべての競技終了後、本大会最優秀競技者を男子、女子各 1 名選出し、表彰する。選ばれる可能性のある選手は、大会終了時まで競技場に残ること。また、1 日目の種目も対象となるため、注意すること。

10. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいは

チームの代表者により結果が電光掲示板に正式発表されてから 30 分以内(次のラウンドがある場合は 15 分以内)に、担当総務員（大会本部に常駐）を通じて口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なされる。抗議に対して審判長は速やかに裁定する。

11. 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずテープ等を貼って隠すこと。

12. 衣類の管理について

- 1) トラック競技出場者の衣類等を管理するためのビニール袋を主催者側で準備する。混同を避けるため、氏名・大学名を必ず記入すること。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等は主催者で用意したビニール袋に入れ競技役員が指示した場所に置くこと。これらの衣類は、ただちにフィニッシュ付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自で受け取り退場すること。
- 3) 各リレー種目の決勝、4×100mR 予選の 2～4 走の荷物運搬に関しては主催者側では行わないので、各自で行うこと。

13. 応急処置・緊急車両の手配について

- 1) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする(競技者保険の適用)。ただし、2013 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わない。
- 2) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配しないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。

14. 応援について

正面スタンドでの大学を明示するもの(部旗、横断幕、幟等)の使用・掲出は一切禁止する。横断幕については、各校 1 枚に限りバックスタンドでの掲出を許可する。その際は、必ず紐を使用し、テープ等の使用は禁止する。手持ちの幟等についてもバックスタンドに限り掲出を許可する。また、メガホン・鳴り物等による応援、正面スタンドでの集団応援は禁止する。

15. その他

- 1) 2013 年度日本陸上競技連盟競技規則の修改正点について特に注意すること。
- 2) トラック種目における不正スタートは 1 回で失格とする。混成競技については 2 回目は誰であろうと失格とする。
- 3) サークルを使用しての投てき練習は 1 人 1 回につき 1 分以内とする。
- 4) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- 5) 競技運営上、多少の競技日程の変更をする場合がある。
- 6) 競技エリア内での競技者への付添は禁止する。
- 7) 盗難・紛失について
主催者側で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等は学連控室で管理する)。
- 8) 荷物の搬出入について
各大学車両の競技場構内への進入は禁止とする。ただし、荷物搬出入券を持参している場合に限り南車門からの入場を許可する。その際、競技場内での駐車は禁止し、荷物の積み下ろし後は、周辺のコインパーキング等に移動すること。路上駐車は禁止する。

9) 国立競技場開門及び閉門時刻について

	(開 門)	(閉 門)
1 日目<9 月 15 日 (日)>	7 : 00	19:30
2 日目<9 月 16 日 (月・祝)>	7 : 00	21:00

※開・閉門時刻は厳守のこと。

- 10) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明の点は大会総務に問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟